

R2品木ダム水質管理所直流電源装置更新工事 において「見積活用方式」等の試行を行います。

令和3年3月30日（火）
国土交通省 関東地方整備局
品木ダム水質管理所

昨今、工事発注において予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由とし、入札のとりやめや不調となる工事が相次いでいることから不調・不落対策を試行しております。

今回発注する「R2品木ダム水質管理所直流電源装置更新工事」については、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが予想されることから、「見積活用方式」等の試行を行います。

①「見積活用方式」

本工事は、予定価格の算定に必要な項目（**工事歩掛**）について見積価格を記載した見積書及び根拠資料の提出を求め、その妥当性が確認できた見積価格を予定価格作成のための参考とする方式です。

②「機器単体費の提示」

本工事では、「直流電源装置」に係わる機器単体費を歩掛見積参考資料に提示する試行を行います。

③「余裕期間制度（フレックス方式）」

受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定する制度です。

■工事概要

工事名： R2品木ダム水質管理所直流電源装置改修工事

工事種別：受変電設備工事

工事場所（都県）：群馬県吾妻郡草津町

工事発注規模：1千万円 以上 2千万円 未満

工期：【フレックス方式】 契約締結日の翌日から令和4年1月14日（工事完了期限）まで

入札契約方式：公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式（地域防災実績評価型））

工事概要：

機器製作工（機器単体費） 1式

直流電源設備設置工 1式

配管・配線工 1式

直流電源設備撤去工 1式

配管・配線撤去工 1式

仮設工（仮設直流電源） 1式

■スケジュール

公告日：令和3年3月30日

期限日：令和3年4月27日

開札日：令和3年5月14日

《公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）の試行について》

過去の事例等から参加者が少数と見込まれる案件について適用される試行で、参加要件は企業のみとして技術者要件を求めないため建設業法上の資格を満たしていれば経験等が無くても配置が可能となり、監理（主任）技術者要件を最大限緩和しております。

なお、総合評価は、地域防災活動の実績を加算点としています。

《見積活用方式について》

過去の事例等から、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが予想される直接工事費（直流電源装置設置、直流電源装置撤去）について、入札参加者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証のうえ、予定価格に反映する「見積活用方式」を採用します。

なお、採用した見積については令和3年4月22日に公表します。

《機器単体費の提示について》

工場制作機器（直流電源装置）及び、仮設直流電源装置について、機器単体費を歩掛見積参考資料に提示します。

《余裕期間制度（フレックス方式）の活用について》

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、発注者があらかじめ設定した全体工期の内、受注者が工事の始期と終期を決定し工期とすることができる制度です。

なお、余裕期間は全体工期の30%を超えず、かつ4ヶ月を超えない範囲とし、余裕期間内は監理技術者等の配置が不要になります。

全体工期：契約締結の翌日から令和4年1月14日まで

公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)の試行について

対象は
一般土木
C,B+C工事
維持修繕等

【メリット】

- ✓ 施工体制確保→発注工事の公募
- ✓ 資料は参加希望の意思確認時のみの提出
→資料の簡素化、合理化(個別発注時では不要)
- ✓ 手続期間の短縮
→指名通知から決定まで2週間程度
- ✓ **指名競争・総合評価落札方式**
→災害協定の締結や活動に係るインセンティブの向上

